

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目   | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|------|-----|----|----|
| 国語 | 論理国語 | 2   | 3  | 全  |

| 教科書（発行者）      | 補助教材等（発行者）   |
|---------------|--|
| 精選 論理国語（数研出版） | 入試頻出国語＋現代文重要語 TOP2500（いっずな書店）<br>評論速読トレーニング 1500（数研出版）<br>2025 共通テスト対策重要問題演習 現代文（ラーズ）<br>総合版共通テスト＋センター試験国語過去問題（尚文出版） |

|      |   |
|------|---|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|---|

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。   |
|             | 思 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 |
|             | 体 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。               |

| 単元及び学習内容 | 学習のアドバイス                                  | 評価方法                      | 学習予定時期  |
|----------|---|---------------------------|---------|
| 異文化と普遍   | 表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連付けて考察してみよう。    | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 4月～5月   |
| 情報と社会    | 文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解しよう。                   | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 6月～7月   |
| 思考の枠組み   | 語彙力を身につけて、論理的な文章を読解する力をつけよう。              | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 7月～9月   |
| 考えの表出    | 文章を読解したうえで問題意識を持ち、自分の考えを根拠とともに論述する力をつけよう。 | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 10月～11月 |
| 表現       | 読み手を意識した構成・展開を考え、説得力のある文章を書けるようにしよう。      | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 12月～2月  |

| 年間評価                                     | 知          | 思          | 体          |
|--|------------|------------|------------|
| <b>観点別評価割合</b><br>(授業内評価<br>+<br>定期考査評価) | 40 %<br>程度 | 40 %<br>程度 | 20 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

|        |   |
|--------|---|
| 全体を通して | まずは語彙力を身につけましょう。そのうえで問題意識を持って文章を読み、自分の考えを深めていきましょう。 |
|--------|---|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目   | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|------|-----|----|----|
| 国語 | 古典探究 | 2   | 3  | B  |

| 教科書（発行者）    | 補助教材等（発行者）  |
|-------------|---|
| 古典探究（第一学習社） | 体系古典文法（数研出版）、新明説漢文（尚文出版）<br>みるみる覚える古文単語300＋敬語30三訂版（いづな書店）、<br>2025 共通テスト対策重要問題演習 現代文（ラーンズ）<br>総合版共通テスト＋センター試験国語過去問題（尚文出版） |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|--|

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 評価の観点<br>及びその趣旨 | 知 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。  |
|                 | 思 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。   |
|                 | 体 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。 |

| 単元及び学習内容    | 学習のアドバイス                             | 評価方法                      | 学習<br>予定<br>時期                  |
|-------------|--------------------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 日記          | 感情が表れている形容詞に注意して、作者の心情を読み取ろう。        | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 4<br>月<br>～<br>5<br>月           |
| 物語<br>諸家の思想 | 登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深めよう。 | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 6<br>月<br>～<br>7<br>月           |
| 随筆<br>古代の史話 | 漢文の基本句形を覚えよう。書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈しよう。  | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 7<br>月<br>～<br>9<br>月           |
| 評論          | 筆者の主張を読み取り、和歌等の日本文学に関する理解を深めよう。      | ・定期考査<br>・ワークシート<br>・小テスト | 1<br>0<br>月<br>～<br>1<br>1<br>月 |

|    |  |   |                            |
|----|--|---|----------------------------|
| 逸話 | 今までに学習した漢文の構造や訓読についての知識を活用して、現代にも通用する教訓を学ぼう。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークシート</li> <li>・小テスト</li> </ul> | 1<br>2<br>月<br>～<br>2<br>月 |
|----|--|---|----------------------------|

| 年間評価                                     | 知          | 思          | 体          |
|--|------------|------------|------------|
| <b>観点別評価割合</b><br>(授業内評価<br>+<br>定期考査評価) | 40 %<br>程度 | 40 %<br>程度 | 20 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

|        |   |
|--------|---|
| 全体を通して | 1・2年生で習った知識を使ってさまざまな文章を読んでいます。<br>古典の知識が足りないと感じる人は、早めに復習しておきましょう。 |
|--------|---|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目    | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|-------|-----|----|----|
| 公民 | 政治・経済 | 2   | 3  | 全  |

| 教科書（発行者）    | 補助教材等（発行者）                        |
|-------------|-----------------------------------|
| 政治・経済(数研出版) | 記入整理・演習と解説<br>スタディノート 政治・経済(数研出版) |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |
|------|--|

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。   |
|             | 思 | 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 |
|             | 体 | よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。        |

| 単元及び学習内容     | 学習のアドバイス  | 評価方法                             | 学習予定時期         |
|--------------|---|----------------------------------|----------------|
| 第1章<br>現代の政治 | 民主政治の基本原理として、絶対主義、自然権、社会契約、法の支配などの概念や、議会制や権力分立制などとの関連性についての理解を深めよう。                                       | ・発問評価<br>・提出課題<br>・小テスト<br>・定期考査 | 4月<br>～<br>7月  |
| 第2章<br>現代の政治 | 市場経済における、経済活動と市場の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。特に、代表的な経済学者の考え方や市場構造の変動、具体的な市場における価格形成の事例の考察を通して理解を深めよう。 | ・発問評価<br>・提出課題<br>・小テスト<br>・定期考査 | 9月<br>～<br>12月 |

|                |   |                                  |       |
|----------------|---|----------------------------------|-------|
| 第3章<br>現代の国際社会 | 国際社会と国際法について、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めよう。 | ・発問評価<br>・提出課題<br>・小テスト<br>・定期考査 | 1月～2月 |
|----------------|---|----------------------------------|-------|

| 年間評価                              | 知          | 思          | 体          |
|-----------------------------------|------------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>（授業内評価<br>+<br>定期考査評価） | 47 %<br>程度 | 20 %<br>程度 | 33 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

|        |   |
|--------|---|
| 全体を通して | 主体的に授業に参加し、社会的事象に対して多面的・多角的な見方・考え方を身に付けていきましょう。 |
|--------|---|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目  | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|-----|-----|----|----|
| 数学 | 数学Ⅲ | 5   | 3  | B  |

| 教科書（発行者）     | 補助教材等（発行者）                                      |
|--------------|---|
| 新編 数学Ⅲ（数研出版） | チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C（数研出版）<br>新課程練習ドリル数学Ⅲ標準編（数研出版） |

|      |   |
|------|---|
| 学習目標 | 極限、微分法及び積分法の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を身に付ける。 |
|------|---|

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 評価の観点<br>及びその趣旨 | 知 | 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。   |
|                 | 思 | 数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。  |
|                 | 体 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。 |

| 単元及び学習内容 | 学習のアドバイス   | 評価方法            | 学習<br>予定<br>時期 |
|----------|--|-----------------|----------------|
| 関数       | 様々な関数に対して性質を把握し、グラフをかけるようにすること。                            | 定期テスト、中テスト、課題など | 4月             |
| 極限       | ①無限等比数列と無限等比級数の違いについて理解すること。<br>②様々な関数について極限を求められるようにすること。 | 定期テスト、中テスト、課題など | 4月～<br>6月      |
| 微分法      | 導関数を利用して関数の増減・凹凸を調べ、グラフをかけるようにすること。                        | 定期テスト、中テスト、課題など | 6月～<br>10月     |
| 積分法      | 積分法を利用して面積や回転体の体積を求められるようにすること。                            | 定期テスト、中テスト、課題など | 10月<br>～2月     |

| 年間評価                              | 知         | 思          | 体          |
|-----------------------------------|-----------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>（授業内評価<br>+<br>定期考査評価） | 46%<br>程度 | 31 %<br>程度 | 23 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

|        |   |
|--------|---|
| 全体を通して | 数学Ⅲは内容も難しく、計算量も多くなります。日々の学習を大切にし、時間をかけて取り組むことが大切です。 |
|--------|---|



## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目   | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|------|-----|----|----|
| 数学 | 理系数学 | 5   | 3  | B  |

| 教科書（発行者） | 補助教材等（発行者）             |
|----------|------------------------|
| 本校編集の教材  | シニア数学演習Ⅰ・A・Ⅱ・B・C（数研出版） |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | (1) 数学における学習内容をさらに深め、基礎的な知識・技能を習得する。<br>(2) 数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようという態度を身に付ける。 |
|------|--|

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 評価の観点<br>及びその趣旨 | 知 | 数学の考え方についての基本概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 |
|                 | 思 | 方程式や図形の性質を論理的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身に付ける。      |
|                 | 体 | 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善する態度を身に付ける。   |

| 単元及び学習内容 | 学習のアドバイス   | 評価方法                 | 学習<br>予定<br>時期 |
|----------|--|----------------------|----------------|
| 2次関数     | グラフを用いて最大値・最小値を考察できるようにすること。また、変数が入っている場合にもよく演習しておくこと。                     | 定期テスト、小テスト・課題、レポートなど | 通年             |
| 図形と計量    | 公式をきちんと使いこなせるように反復練習すること。そのうえで、図形の中から必要なものを抜き出して考えたり、つけて足して考えたりできるようにすること。 | 定期テスト、小テスト・課題、レポートなど | 通年             |
| 場合の数と確率  | 場合の数や確率の基本的な考え方について理解を深め、文章から読み取り、数学的に処理できるようにすること。                        | 定期テスト、小テスト・課題、レポートなど | 通年             |
| 微分法・積分法  | 微分法について理解を深め、グラフとの関連と結び付けて方程式の処理とグラフでの処理を使い分けるようにすること。                     | 定期テスト、小テスト・課題、レポートなど | 通年             |

| 年間評価                              | 知          | 思          | 体          |
|-----------------------------------|------------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>(授業内評価<br>+<br>定期考査評価) | 46 %<br>程度 | 31 %<br>程度 | 23 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

|        |  |
|--------|--|
| 全体を通して | わからない部分をそのままにしない。人に説明できるように理解を深める。<br>反復練習が大切です。 |
|--------|--|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目   | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|------|-----|----|----|
| 数学 | 数学総合 | 3   | 3  | B  |

| 教科書（発行者） | 補助教材等（発行者）                       |
|----------|----------------------------------|
| 本校編集の教材  | チャート式 解法と演習 I・A・II・B・C<br>(数研出版) |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | (1) 数学 I・A・II・B・C の各科目における学習内容をさらに深めることができるように、基礎的な知識及び技能を身に付ける。<br>(3) 数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようという態度を身に付ける。 |
|------|--|

|                 |   |  |
|-----------------|---|--|
| 評価の観点<br>及びその趣旨 | 知 | 数学 I・A・II・B・C の各科目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。              |
|                 | 思 | 式の性質、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、数学的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。 |
|                 | 体 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。                    |

| 単元及び学習内容 | 学習のアドバイス  | 評価方法            | 学習<br>予定<br>時期 |
|----------|---|-----------------|----------------|
| ベクトル     | 内積や垂直条件などベクトルの性質を理解し、ベクトルを用いて図形の性質について考察できるようにすること。             | 定期テスト、中テスト、課題など | 通年             |
| 複素数平面    | 複素数の絶対値、ド・モアブルの定理、点の回転、複素数と図形について理解すること。                        | 定期テスト、中テスト、課題など | 通年             |
| 数列       | 様々な数列について理解し、一般項・数列の和を求められるようにすること。また、漸化式について考察できるようにすること。      | 定期テスト、中テスト、課題など | 通年             |
| 場合の数と確率  | 場合の数や確率について理解を深め、数学的に処理できるようにすること。                              | 定期テスト、中テスト、課題など | 通年             |
| 三角関数     | 加法定理や2倍角について理解すること。また、三角関数を利用して関数の最大・最小について考察できるようにすること。        | 定期テスト、中テスト、課題など | 通年             |
| 指数・対数関数  | 指数と対数について理解し、方程式や不等式について考察できるようにすること。また、指数・対数のグラフの性質について理解すること。 | 定期テスト、中テスト、課題など | 通年             |

| 年間評価                              | 知          | 思          | 体          |
|-----------------------------------|------------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>(授業内評価<br>+<br>定期考査評価) | 46 %<br>程度 | 31 %<br>程度 | 23 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

|        |  |
|--------|--|
| 全体を通して | 1・2年生で学習した内容の演習が中心の授業となります。予習・復習を欠かさずに行ってください。 |
|--------|--|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|----|-----|----|----|
| 理科 | 物理 | 4   | 3  | B  |

| 教科書（発行者）       | 補助教材等（発行者）  |
|----------------|---|
| 高等学校 物理（第一学習社） | 新編アクセス 総合物理（浜島書店）<br>新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理（数研出版） |

|      |   |
|------|---|
| 学習目標 | <p>物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
|------|---|

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 |
|             | 思 | 物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。    |
|             | 体 | 物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                     |

| 単元及び学習内容             | 学習のアドバイス   | 評価方法                  | 学習予定時期              |
|----------------------|--|-----------------------|---------------------|
| (2)波<br>(ア)波の伝わり方    | 波の伝わり方では、観察、実験の技能を身に付け、①波の伝わり方とその表し方について、②波の干渉と回折についての原理・法則をマスターしよう。           | ・中テスト<br>・課題<br>・レポート | 4月上旬<br>～<br>4月中旬   |
| (イ)音                 | 音では、観察、実験の技能を身に付け、①音の干渉と回折について、②音のドップラー効果についての原理・法則をマスターしよう。                   | ・中テスト<br>・課題<br>・レポート | 4月下旬<br>～<br>5月中旬   |
| (ウ)光                 | 光では、観察、実験の技能を身に付け、①光の伝わり方について、②光の回折と干渉についての原理・法則をマスターしよう。                      | ・中テスト<br>・課題<br>・レポート | 5月下旬<br>～<br>6月下旬   |
| (3)電気と磁気<br>(ア)電気と電流 | 電気と電流では、観察、実験の技能を身に付け、①電荷と電界について、②電界と電位について、③電気容量について、④電気回路についての原理・法則をマスターしよう。 | ・中テスト<br>・課題<br>・レポート | 7月上旬<br>～<br>9月下旬   |
| (イ)電流と磁界             | 電流と磁界では、観察、実験の技能を身に付けるとともに、①電流による磁界について、②電流が磁界から受ける力について、③電磁誘導につい              | ・中テスト<br>・課題<br>・レポート | 10月上旬<br>～<br>11月中旬 |

|                  |  |  |                     |
|------------------|--|--|---------------------|
|                  | て、④電磁波についての原理・法則をマスターしよう。  |  |                     |
| (4)原子<br>(7)電子と光 | 電子と光では、観察、実験の技能を身に付けるとともに、①電子について、②粒子と波動性についての原理・法則をマスターしよう。               |  | 11月下旬<br>～<br>12月下旬 |
| (i)原子と原子核        | 原子と原子核では、観察、実験の技能を身に付けるとともに、①原子とスペクトルについて、②原子核について、③素粒子についての原理・法則をマスターしよう。 |  | 1月上旬<br>～<br>2月上旬   |
| (v)物理学が築く未来      | 物理学が築く未来では、観察、実験の技能を身に付けるとともに、物理学が築く未来についての原理・法則をマスターしよう。                  |  | 2月中旬                |

| 年間評価                              | 知         | 思         | 体         |
|-----------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 観点別評価割合<br>(授業内評価<br>+<br>定期考査評価) | 47%<br>程度 | 33%<br>程度 | 20%<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

|        |   |
|--------|---|
| 全体を通して | 物理で扱う現象を日常生活に当てはめ、現象をしっかりとイメージしながら、原理・法則を使って問題に取り組もう。 |
|--------|---|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|----|-----|----|----|
| 理科 | 化学 | 4   | 3  | B  |

| 教科書（発行者）           | 補助教材等（発行者）  |
|--------------------|---|
| 化学 Vol.2 物質編(東京書籍) | 新課程 ニューアチーブ化学（東京書籍）<br>問題タイプ別 大学入学共通テスト対策問題集 化学（実教出版） |

|      |   |
|------|---|
| 学習目標 | <p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
|------|---|

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 |
|             | 思 | 化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。   |
|             | 体 | 化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                    |

| 単元及び学習内容    | 学習のアドバイス   | 評価方法                  | 学習予定時期             |
|-------------|--|-----------------------|--------------------|
| 4編 無機物質     | 「非金属元素」「典型金属元素」「遷移元素」にグループ分けし、それぞれの性質（物性・反応性等）に着目し、類似点と相違点を系統立てて理解しよう。                 | ・小テスト<br>・課題<br>・レポート | 4月上旬<br>～<br>7月上旬  |
| 5編 有機化合物    | 「官能基」ごとにグループ分けし、それぞれの性質（物性・反応性等）に着目し、類似点と相違点を系統立てて理解しよう。                               | ・小テスト<br>・課題<br>・レポート | 7月中旬<br>～<br>11月中旬 |
| 6編 高分子化合物   | 「天然高分子化合物」は「糖」「タンパク質」についてそれぞれの特徴を理解しよう。<br>「合成高分子化合物」は、重合方法と物性に着目し、類似点と相違点を系統立てて理解しよう。 | ・小テスト<br>・課題<br>・レポート | 11月下旬<br>～<br>2月上旬 |
| 7編 化学が果たす役割 | 「工業的製法」について理解を深めるとともに、現代社会において化学が果たす役割について考えてみよう。                                      | ・レポート                 | 2月上旬<br>～<br>2月中旬  |

| 年間評価                              | 知         | 思         | 体         |
|-----------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 観点別評価割合<br>（授業内評価<br>＋<br>定期考査評価） | 46%<br>程度 | 31%<br>程度 | 23%<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して

2年次の内容と比べて、覚えることが多くなります。丸暗記ではなく、系統立てて理解することが大切です。また、酸・塩基や酸化還元反応、mol計算など化学基礎の内容もベースになってきますので、思い出しながら学習を進めましょう。

令和6年度 科目別シラバス

| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年 | 類型 |
|----|----|-----|----|----|
| 理科 | 生物 | 4   | 3  | B  |

| 教科書（発行者） | 補助教材等（発行者）  |
|----------|---|
| 生物（数研出版） | 二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）、改訂版リード α 生物基礎+生物（数研出版）<br>新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物（数研出版） |

| 学習目標 | <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> |
|------|--|
|------|--|

| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。     |
|-------------|---|---|
|             | 思 | 生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 |
|             | 体 | 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。        |

| 単元及び学習内容                                       | 学習のアドバイス  | 評価方法                  | 学習予定時期     |
|--|---|-----------------------|------------|
| (3) 遺伝情報の発現と発生<br>(イ) 発生と遺伝子発現<br>(ウ) 遺伝子を扱う技術 | 遺伝子を扱う技術にはどのようなものがあるか、自分たちの生活にどのような影響を与えるか考えてみよう。 | ・小テスト<br>・課題<br>・レポート | 4月<br>～7月  |
| (4) 生物の環境応答<br>(ア) 動物の反応と行動<br>(イ) 植物の環境応答     | 動物と植物、それぞれの生存戦略がどのようなものか考えてみよう。                   | ・小テスト<br>・課題<br>・レポート | 9月<br>～12月 |
| (5) 生態と環境<br>(ア) 個体群と生物群集<br>(イ) 生態系           | これまで学習してきた生物の内容を踏まえ、生態系がどのように成り立っているのか考えてみよう。     | ・小テスト<br>・課題<br>・レポート | 12月<br>～2月 |

| 年間評価                        | 知          | 思          | 体          |
|-----------------------------|------------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>(授業内評価 + 定期考査評価) | 46 %<br>程度 | 31 %<br>程度 | 23 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末（年間評価）】

| 全体を通して | 実験や探究活動を通して思考力を鍛えつつ、知識をしっかりと定着させましょう。生物の面白さを感じてもらえると嬉しいです。 |
|--------|--|
|--------|--|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科   | 科目 | 単位数 | 学年 | 類型 |
|------|----|-----|----|----|
| 保健体育 | 体育 | 2   | 3  | 全  |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p> |
|------|--|

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 評価の観点<br>及びその趣旨 | 技 | 運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。                       |
|                 | 思 | 課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。          |
|                 | 体 | 活動に自主的かつ公正に取り組む、一人一人の違いを大切に、互いに助け合い教え合おうとしている。健康・安全を確保しようとしている。 |

| 単元及び学習内容   | 学習のアドバイス   | 評価方法                              | 学習<br>予定<br>時期   |
|--|--|-----------------------------------|--|
| 体づくり運動<br>・体ほぐし運動<br>・実生活に生かす<br>運動の計画   | (1) 手軽な運動の実践を通して、心身の状態に気づき、仲間と積極的に関わろう。<br>(2) ねらいに応じて運動の計画を立て、体力を向上させよう。  | ・観察                               | 4月<br>9月<br>2月   |
| 球技<br>・ゴール型<br>(サッカー、ハンドボール、バスケットボール)<br>・ネット型<br>(バレーボール、バドミントン、卓球、テニス)<br>・ベースボール型<br>(ソフトボール) | (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開しよう。<br>※(ゴール型) 安定したボール操作を身に付け、空間を効果的に使い攻防しよう。<br>(ネット型) 安定したボール操作、ラケット操作を身につけ、連携した動きで空いた場所をめぐる攻防をしよう。<br>(ベースボール型) 安定したバット操作と走塁と安定したグラブ・ボール操作による守備で攻防を展開しよう。 | ・観察<br>・ゲーム<br>・スキルテスト<br>・ワークシート | 4月<br>～<br>6月<br>(I)<br><br>9月<br>10月<br>(II)<br><br>11月<br>～<br>1月<br>(III) |

|                |  |                                   |                   |
|----------------|--|-----------------------------------|-------------------|
|                | (2)自己やチームの課題を発見し解決に繋げよう。気づいたことは言葉にして相手に伝えよう。<br>(3)フェアプレイを大切にし、作戦等の話し合いに積極的に関わり、自主的な活動を目指そう。互いに教え合うことや、安全の確保を意識しよう。          |                                   |                   |
| 陸上競技<br>・走・跳・投 | (1)効率的な動きを身に付け、スピードや距離を向上させよう。<br>(2)仲間と課題を発見し、合理的な解決を目指そう。<br>(3)一人一人の課題を尊重し、自主的に活動に取り組もう。安全の確保を意識しよう。                      | ・観察<br>・計測<br>・ワークシート             | 4月～<br>6月<br>(I)  |
| 器械運動<br>・マット運動 | (1)技ができる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技で演技できるようになろう。<br>(2)仲間と教え合い課題を解決しよう。<br>(3)挑戦心を大事に自主的に取り組もう。安全の確保を意識しよう。                           | ・観察<br>・発表<br>・ワークシート             | 9月<br>10月<br>(II) |
| ダンス<br>・創作ダンス  | (1)表現したいテーマのイメージを捉えて、緩急強弱のある動きや空間の使い方を工夫して作品を完成させよう。<br>(2)グループの話し合いで表現方法を改善し、よい良い作品にしていこう。<br>(3)それぞれの役割をよく考え、自主的に活動に取り組もう。 | ・観察<br>・グループワーク<br>・発表<br>・ワークシート | 9月<br>10月<br>(II) |
| 体育理論           | (1)興味関心のあるスポーツの様々な側面について多面的に深め、知識を身に付けよう。<br>(2)身に付けた知識に対して考察を深め、自分の言葉で表現しよう。<br>(3)スポーツの理論的学習に自主的に取り組もう。                    | ・観察<br>・レポート<br>・発表<br>・ワークシート    | 7月                |

| 年間評価               | 知・技        | 思          | 体          |
|--------------------|------------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>《授業内評価》 | 40 %<br>程度 | 30 %<br>程度 | 30 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

|        |  |
|--------|--|
| 全体を通して | 活動に意欲的に取り組み、技能の向上や勝敗を競う楽しさを味わおう。<br>仲間と協力し、より良い活動を自主的に作り上げよう。<br>将来継続的に実践できるような種目を見つけよう。 |
|--------|--|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科  | 科目           | 単位数 | 学年 | 類型   |
|-----|--------------|-----|----|------|
| 外国語 | 英語コミュニケーションⅢ | 3   | 3  | A1・B |

| 教科書（発行者）                                 | 補助教材等（発行者）   |
|--|--|
| LANDMARK Fit English CommunicationⅢ(啓林館) | LANDMARK Fit English CommunicationⅢワークブック（啓林館）・READING CORE for 共通テスト（啓隆社）・英単語ターゲット1400（旺文社） |

|      |  |
|------|--|
| 学習目標 | 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 |
|------|--|

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。         |
|             | 思 | 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題についての情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。                     |
|             | 体 | 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 |

| 単元及び学習内容  | 学習のアドバイス   | 評価方法                                | 学習予定時期         |
|---|--|-------------------------------------|----------------|
| Lesson 1<br>「Incredible Edible」<br>Lesson 2<br>「Blood Is Blood」                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。</li> <li>文章の内容について要点をまとめ、自分の考えを書いて伝えることができる。</li> <li>本文のテーマ（町おこし、黒人差別）についての自分の考えを英語で伝えることができる。</li> </ul>      | 定期考査<br>課題<br>振り返りシート               | 4月～<br>5月中旬    |
| Lesson 3<br>「Biomimetics」<br>Lesson 4<br>「Political Correctness」                | <ul style="list-style-type: none"> <li>単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。</li> <li>自然界の生物や事象から生まれた発明品や、政治的中立である表現について理解し、自分の考えを述べるができる。</li> <li>生態模倣の具体例について文章にまとめ、伝えることができる。</li> </ul> | 定期考査<br>課題<br>パフォーマンステスト<br>振り返りシート | 5月下旬～<br>6月下旬  |
| Lesson 5<br>「Saving Our Treasures From the Sea」<br>Lesson 6<br>「Body Imperfect」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。</li> <li>世界文化遺産を守る知恵や建築技法について文章にまとめ、伝えることができる。</li> <li>感銘を受けた世界遺産について、ペアやグル</li> </ul>                         | 定期考査<br>課題<br>振り返りシート               | 7月上旬～<br>10月上旬 |

|  |   |                                     |                             |
|--|---|-------------------------------------|-----------------------------|
|  | ープで話し合うことができる。  |                                     |                             |
| Lesson 7<br>「Christmas Truce」<br>Lesson 8<br>「Global Water Crisis」                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。</li> <li>・ 本文を読み、水不足やバーチャル・ウォーターについて理解し、要点をまとめることができる。</li> <li>・ 第一次世界大戦当時の日本や世界各地の社会情勢について考えをまとめ、英語で伝え合うことができる。</li> </ul> | 定期考査<br>課題<br>パフォーマンステスト<br>振り返りシート | 10月<br>中旬<br>～<br>11月<br>中旬 |
| Lesson 9<br>「Extinction of Languages」<br>Lesson 10<br>「Jose Mujica: The World's Porrest President」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。</li> <li>・ 本文を読み、内容について理解し、要点をまとめることができる。</li> <li>・ 本文のテーマについて、相手に伝えようとしている。</li> </ul>                                     | 定期考査<br>課題<br>振り返りシート               | 11月<br>下旬<br>～<br>2月<br>中旬  |

| 年間評価                        | 知          | 思          | 体          |
|-----------------------------|------------|------------|------------|
| 観点別評価割合<br>(授業内評価 + 定期考査評価) | 50 %<br>程度 | 27 %<br>程度 | 23 %<br>程度 |

※ 「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※ 「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

|        |   |
|--------|---|
| 全体を通して | <p>単語力と語彙力の早期完成が必要です。教科書や教材を漫然と見るだけでは力は伸びません。単語や英文をしっかりと声に出して読みましょう。英語を読むことが話すこと・聞くこと・書くことに繋がります。また、授業内の言語活動には、昨年度に引き続き、前向きに取り組みましょう。パフォーマンステストには、失敗を恐れず、様々なテーマ・様々なテストに臨んでください。</p> |
|--------|---|

## 令和6年度 科目別シラバス

| 教科  | 科目     | 単位数 | 学年 | 類型   |
|-----|--------|-----|----|------|
| 外国語 | 論理・表現Ⅲ | 3   | 3  | A1・B |

| 教科書（発行者）   | 補助教材等（発行者）   |
|--|--|
| EARTHRISE English Logic and Expression III Standard (数研出版) | EARTHRISE English Grammar in 24 Stages (数研出版)、LISTENING ACE 10 UPGRADED (美誠社)<br>Scramble 英文法・語法 Basic (旺文社) |

|      |   |
|------|---|
| 学習目標 | 日常的な話題に加え、社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開など、支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 |
|------|---|

|             |   |  |
|-------------|---|--|
| 評価の観点及びその趣旨 | 知 | 英語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。            |
|             | 思 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 |
|             | 体 | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。                                       |

| 単元及び学習内容  | 学習のアドバイス   | 評価方法                                    | 学習予定時期        |
|---|--|---|---------------|
| Part 1<br>Lesson 1 New Year's celebration<br>Lesson 2 Working and studying online | <ul style="list-style-type: none"> <li>意見、希望、欲求を述べる表現や賛成、反対を述べる表現の用法・意味を理解し、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</li> <li>食文化に関して、情報や自分の考えを書いて伝えることができる。</li> <li>オンライン授業に関して、自分の考えをまとめ、論理的に発表しようとしている。</li> </ul>                      | 定期考査<br>課題<br>振り返りシート                   | 4月～<br>5月中旬   |
| Lesson 3 Recreation<br>Lesson 4 Open campus                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>勧誘、招待、期待を述べる表現や計画、意図を述べる用法・意味を理解し、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。</li> <li>友人と一緒にしたいことに関して、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。</li> <li>オープンキャンパスに関して、自分の考えをまとめ、聞き手に伝わるように論理的に発表しようとしている。</li> </ul> | 定期考査<br>課題<br>パフォーマンス<br>テスト<br>振り返りシート | 5月下旬～<br>6月下旬 |

|  |   |   |                             |
|--|---|---|-----------------------------|
| Lesson 5 Places to buy lunch<br>Lesson 6 A helping hand<br>Lesson 7 Online shopping  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案、助言、程度、譲歩、依頼、要請を述べる用法・意味を理解している。</li> <li>・困っている人を助けたことに関して、論理の構成を工夫し発表しようとしている。</li> <li>・オンラインショッピングに関して、伝えたい内容を整理し、聞き手に伝わるように論理的に話そうとしている。</li> </ul>      | 定期考査<br>課題<br>振り返りシート                   | 7月<br>上旬<br>～<br>10月<br>上旬  |
| Lesson 8 Sharing information<br>Lesson 9 Fixing dates<br>Lesson 10 Work experience programs  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・許可、謝罪、感謝、喜びを述べる表現の用法・意味を理解している。</li> <li>・予定変更に関して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、書いて伝えようとしている。</li> <li>・職業体験に関して、考えを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に論理的に答えたりしようとしている。</li> </ul> | 定期考査<br>課題<br>パフォーマンス<br>テスト<br>振り返りシート | 10月<br>中旬<br>～<br>11月<br>中旬 |
| Part 2 Paragraph Structure<br>Lesson 1 Electronic devices / Home appliances<br>Lesson 2 Travel advertisement<br>Lesson 3 Animal features | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例示、列挙、比較、対照のパラグラフの展開を意識して、文章を書く技能を身に付けている。</li> <li>・家電製品や観光地、環境問題について、自分の考えを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。</li> </ul>  | 定期考査<br>課題<br>振り返りシート                   | 11月<br>下旬<br>～<br>2月<br>中旬  |

| 年間評価                                     | 知          | 思          | 体          |
|--|------------|------------|------------|
| <b>観点別評価割合</b><br>(授業内評価<br>+<br>定期考査評価) | 50 %<br>程度 | 27 %<br>程度 | 23 %<br>程度 |

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

|        |  |
|--------|--|
| 全体を通して | 過去2年間で学んだことを活用し、話す活動や書く活動に能動的に取り組むことが大切です。そのためには、教科書や補助教材の問題をたくさん解き、知識として頭の中で整理し、それぞれの活動に繋げましょう。また、分からないところはそのままにせず、わからないことや疑問に思ったことはその都度先生や友達に聞いて解決しましょう。 |
|--------|--|